

平成30年度

# 生徒指導マニュアル

(いじめ防止対策マニュアル)

『いじめは人間として絶対に許されない』

『何があっても絶対に死んではいけない』



熊谷市立市田小学校

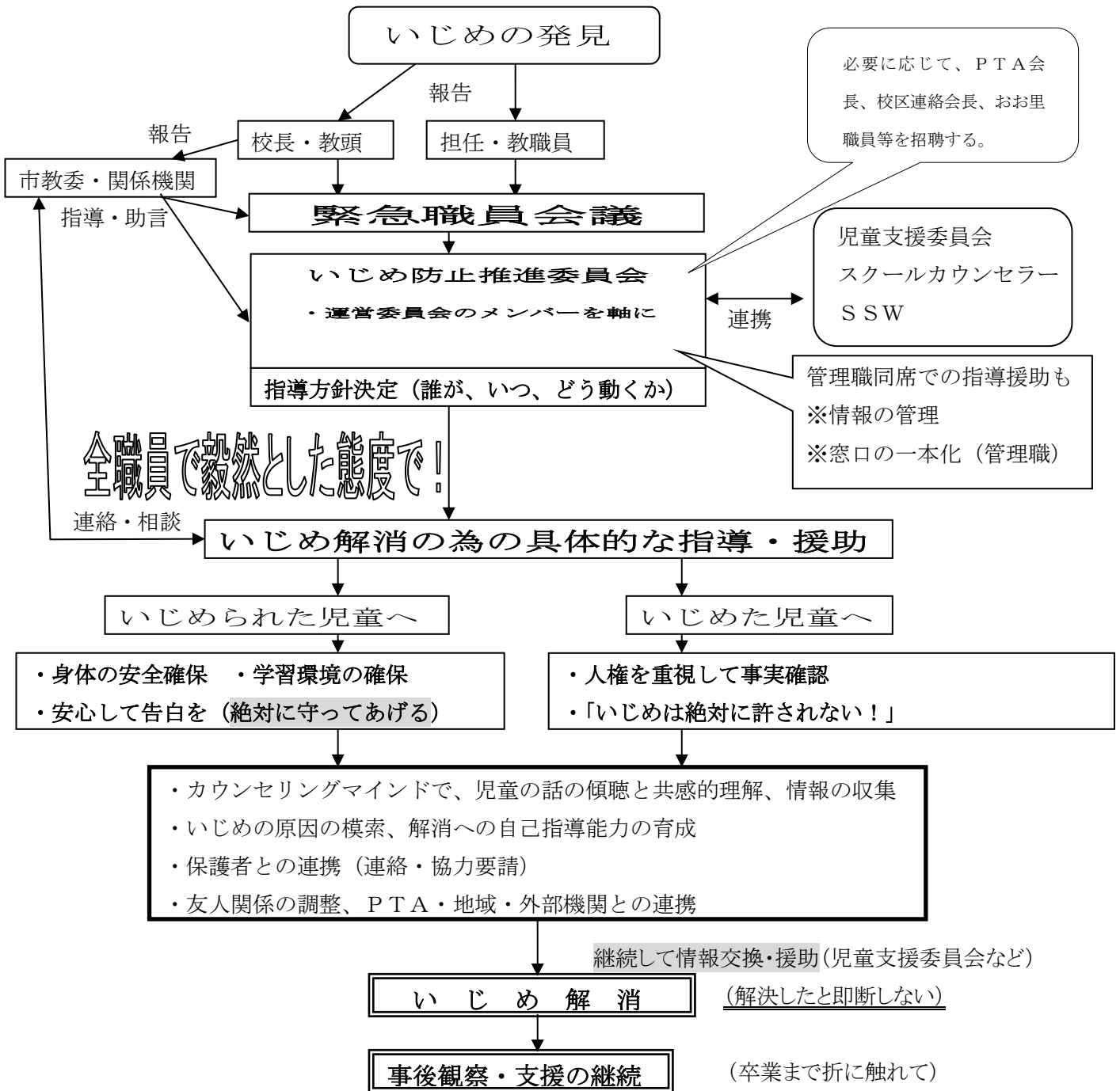
# いじめ緊急対策(起きてからの対応)

- ◎ いじめは人間として絶対に許されない
- ◎ 何があっても絶対に死んではいけない

**いじめの定義**

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

※「行為」とは、「仲間はずれ」や「集団による無視」など直接的に関わるものではないが、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものも含む。※「物理的な影響」とは、身体的な影響のほか、金品をたかられたり、隠されたり、嫌なことを無理矢理させられたりすることなどを意味する。



## いじめに対する取組

### 〈予防対策〉

- ア 教育活動全体を通しての心の教育の充実を図る
  - 体験学習をもとにした道徳授業の実践
- イ 児童支援委員会を定期的に関き、教育相談体制の充実を図る
  - サポートシートを作成し、教職員で共通理解を図る
- ウ 早期発見のチェックポイントを職員・保護者で共通理解する
  - 「いじめのサイン」チェックリストの活用
  - 月1回いじめに関するアンケートの実施
- エ 教師による児童への不公平や不適切な言動のないよう、教師の感性を磨く
  - 長期休業中における職員研修の充実

### 4つの実践・3減運動 大里っ子4つのスタンダード

- オ 楽しい授業、わかる授業の展開に努める（学力を高める授業の実践）
  - 教材・教具・板書の工夫
  - 授業規律の徹底
  - 個に応じた指導の充実
- カ 学級内の望ましい人間関係を醸成する
  - 自分を振り返り自己発見への理解
  - NRT/QUテストの実施
  - 人間関係を良好なものとするスキル習得に向けて取組(スキル教育・道徳・学活)
  - アサーションやソーシャルスキルトレーニングの実施

- キ 大里中のほほえみ相談員や地域教育相談員やスクールカウンセラー・SSWとの連携を密にする
  - ほほえみ相談員・スクールカウンセラーの教育相談部会への参加
- ク 人権週間を年間1回実施し、人権意識の高揚を図る
  - 差別を許さない心を育てるDVD視聴
  - いじめを許さない為に「私の宣言」の作成・掲示

### 〈発生時の対応(別紙参照)〉

- ア いじめは許されないという毅然とした態度で指導に臨む
- イ 指導方針会議を開き、問題解決への見通しを立てる
- ウ 全職員の共通理解、共通行動のもとに指導にあたる
- エ 関係保護者の理解、協力のもと指導にあたる
- オ いじめられた児童の立場に立って、指導にあたるとともに、いじめた側の児童の人格、人権にも配慮する
- カ 教育委員会へ報告し、必要な指示を受ける

### 〈事後の対策〉

- ア 事実関係を調査し、全容を明らかにする
- イ 道徳や学級活動、学年、全校集会等の中で全体指導を行う
- ウ 関係児童の様子を経過観察し、継続指導をしながら変容を見届ける

## 「児童のサイン」チェックリスト，教師の手だて

場面	児童のサイン
登校時から始業前	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ① いつも一人で登校する。友達と登校しても表情が暗い。</li> <li><input type="checkbox"/> ② 登校時間が一定していない。(早く登校したり、遅く登校したりしている)</li> <li><input type="checkbox"/> ③ 自分からあいさつをしない。友達からのあいさつや言葉掛けがない。</li> <li><input type="checkbox"/> ④ あいさつや声掛けをしても、はっきりとした返事が返ってこない。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑤ 元気がなく、顔色がすぐれない。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑥ はっきりとした理由もないのに欠席することがよくある。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑦ 声に出し、心を込めた呼名をしても、元気のない返事をしたり、返事をしなかったりすることがある。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑧ 健康観察の時、頭痛、腹痛、吐き気をよく訴える。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑨ 宿題や朝の読書(課題)をほとんどやっていない。また、提出物が出せない。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑩ 授業の準備をせず、ぼんやりしていたり、そわそわしていたりする。</li> </ul>
<p><b>【教師の手だて】</b></p> <p style="text-align: center;">“はじめが肝心 ようこそ市田小学校へ”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ① 児童の登校のようすを把握し、それに応じた温かい対応をする。</li> <li><input type="checkbox"/> ② 教師から『おはよう』の声がけをし、今日の心理状態を把握する。</li> <li><input type="checkbox"/> ③ 朝の読書や提出物の出来具合を把握し、賞賛や励ましを行う。</li> <li><input type="checkbox"/> ④ 声に出し、心を込めた呼名による健康観察を行い、一人一人を視察するとともに、気になる児童への声掛けを行う。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑤ 朝の会では、今日一日の予定をきちんと説明し、目的をもった生活をしようとする意欲をもたせる。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑥ 朝の会等で欠席者の理由を上手に伝え、教師の温かい思いやりが学級や欠席者に伝わるように工夫をする。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑦ 遅刻してくる児童の理由や原因を追及する前に、学級全員で温かく迎える雰囲気をつくる。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑧ 今日の学習に対する意欲付けをする。</li> <li><input type="checkbox"/> ⑨ 朝の出勤時に職員同士で明るく元気にあいさつを交わす。(教師の行動が児童に伝わる)</li> </ul>	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはよう</li> <li>・ 頑張っているね</li> <li>・ 体調はどう？</li> <li>・ 返事が大きくて気持ちいいね</li> <li>・ 今日はこんなことができるといいね</li> <li>・ 挨拶がとても気持ちいいね</li> <li>・ 聞く姿勢が立派になったね</li> <li>・ ありがとう</li> <li>・ 昨日こんなことがあったよ</li> </ul>

場面	児童のサイン
授業時間	<input type="checkbox"/> ① 宿題や課題、提出物等の忘れ物が多くなってきている。 <input type="checkbox"/> ② 教室に入れず、保健室や相談室、職員室等に来て時間を過ごす。 <input type="checkbox"/> ③ 授業が始まってから、一人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> ④ 授業が始まっているのに机上に学用品が散乱している。 <input type="checkbox"/> ⑤ 教科書やノートなどに落書きされるなどして、汚されている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 体の不調を訴え、たびたび保健室やトイレに行く。 <input type="checkbox"/> ⑦ おどおどして発言をためらったり、うつむいたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 特定の児童の発表や間違いの時だけ、やじがとばされたり笑われたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑨ 特定の児童を誉めると、周りの児童があざ笑ったり、しらけたりする。 <input type="checkbox"/> ⑩ 特定の児童が学習内容と全く関係ないことを発言し(させられ)みんなの笑いものになっている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 二人組を作ったり、グループを作ったりして学習するとき、特定の児童が取り残される。 <input type="checkbox"/> ⑫ 係決めなどをするとき、特定の児童が入った係にはほかの児童が入ろうとしない。 <input type="checkbox"/> ⑬ 学習意欲がなく、学習内容が理解できなくなる。 <input type="checkbox"/> ⑭ これといった明確な理由がないのに、学習成績が急激に下がる。
<p><b>【教師の手だて】</b></p> <p>“誰にでもわかる授業、そして、だれもができない授業を行う”</p> <input type="checkbox"/> ① 笑顔で入室するなど、児童との出会いの時の態度に配慮する。 <input type="checkbox"/> ② 否定的な言葉や態度で授業を始めない。 <input type="checkbox"/> ③ 学習態度や準備ができていない児童に対しては、その原因を探り、援助・指導をしていく。 <input type="checkbox"/> ④ 教師の思惑とは違う考えや児童のつぶやきを大切にされた授業を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 児童が安心して発言できる学習の雰囲気をつくる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 学習が遅れがちな児童も、活躍できる場面を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑦ 学習が遅れがちな児童やつまずいている児童に個別指導を行う。 <input type="checkbox"/> ⑧ 児童の多様な考えが発揮できる場を意図的に設ける。 <input type="checkbox"/> ⑨ 授業のまとめの段階では、児童の理解度を把握するように努め、評価を児童にフィードバックする。	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日頑張ろう</li> <li>・ 返事が大きくて気持ちいいね</li> <li>・ よいところに気づいたね</li> <li>・ 挨拶がとても気持ちいいね</li> <li>・ 聞く姿勢が立派になったね</li> <li>・ その考え方いいね</li> <li>・ なるほど</li> <li>・ すばらしいね</li> <li>・ ここがよかったね</li> <li>・ こんなふう考えたらどうかな</li> </ul>

場面	児童のサイン
休み時間	<input type="checkbox"/> ① これまで仲の良かったグループから外されている。 <input type="checkbox"/> ② どのグループにも入れず、一人でぼつんとしている。 <input type="checkbox"/> ③ 自分から友達に声掛けすることなく、誘われるままに元気がなくついていく。 <input type="checkbox"/> ④ 保健室や相談室に出入りすることが多くなっている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 用事もないのに職員室付近をうろうろしている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 教師に寄ってきたり、隠れるようにして話したりする。 <input type="checkbox"/> ⑦ 遊びの中で笑いものにされたり、からかわれたり、命令されたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 一緒に遊んでいるように見えても、表情がさえず、おどおどした様子が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 一緒に遊んでいる友達に異常なほどの気遣いをしている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 遊びの中でいつもいやな役をさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑪ プロレス遊びや〇〇ごっこのようなことに無理やり加えられている。 <input type="checkbox"/> ⑫ トイレ等に閉じこもっている。 <input type="checkbox"/> ⑬ 普段はおとなしい男子が、女子トイレに入ったり、スカートめくりなどをしている。(させられている) <input type="checkbox"/> ⑭ 休み時間の前にはなかった衣服の汚れや破れ、擦り傷等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑮ 一人で、校舎内をフラフラと徘徊し、寂しそうに教室へ戻ってくる。 <input type="checkbox"/> ⑯ 遊びで使った道具等の後始末をいつもさせられている。
<p><b>【教師の手だて】</b>  “一人で 30 秒 35 人でたったの 17 分 30 秒”</p> <input type="checkbox"/> ① 休み時間になった時、児童が遊び仲間を作って遊びに行く様子を観察する。 <input type="checkbox"/> ② 遊びに入れない児童をそのままにせず、誘い合って遊べるように働きかける。 <input type="checkbox"/> ③ 教師自ら、できるだけ児童と一緒に遊ぶことを心掛ける。 <input type="checkbox"/> ④ 児童との対話や声掛けなどを通して(チャンス相談)、悩みなどを把握し、援助・指導をする。 <input type="checkbox"/> ⑤ 「(これは)遊びです」という児童の言葉を鵜呑みにせず、状況を確認する。 <input type="checkbox"/> ⑥ 児童の表情などから、休み時間の満足度を把握する。 <input type="checkbox"/> ⑦ 授業終了の時刻と開始の時刻を守り、休み時間を確保する。 <input type="checkbox"/> ⑧ 授業から職員室等へ戻るときは、いつも同じ経路でなく、いろいろな経路を通る。死角になるところに教師の目が届くように。 <input type="checkbox"/> ⑨ 次時間が空き時間であるならば、教育相談の絶好の機会であることを認識し、教室や廊下で児童との会話を増やそう。	
言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨の日は落ち着いて生活しようね</li> <li>・ 電気、戸締まりよろしくね</li> <li>・ 挨拶がとても気持ちいいね</li> <li>・ 次は移動教室だね、しっかり頑張って</li> <li>・ 何か質問がある人は来て下さい。</li> <li>・ ありがとう</li> </ul>

場面	児童のサイン
給食時間	<input type="checkbox"/> ① 敬遠しがちなメニューの品を特定の児童だけ山盛りにする。または、その逆。 <input type="checkbox"/> ② 特定の児童への配膳忘れ(意図的)がよくある。 <input type="checkbox"/> ③ 特定の児童が配膳しようとする周囲の児童が受け取ろうとしない。 <input type="checkbox"/> ④ 児童に好まれるメニューを、もらわれてしまうことが多い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 配膳の為に列をつくる時、特定の児童の後ろに並びたがらない。 <input type="checkbox"/> ⑥ 腹痛や吐き気を訴えることが多く、給食を残すなど食欲がないことが見られる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 班で机を寄せて会食する時、いつも特定の児童の机だけ離されている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 班での会話に、特定の児童だけ入れてもらえず無視されている。または、会話に入りたがらない。 <input type="checkbox"/> ⑨ 話題が特定の児童の悪口や失敗ごとが中心となっており、おもしろそうに話されている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 特定の児童が、一人で食器の片付けや、牛乳パックの処理をさせられている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 食器の片付けや返却、運搬の際当番以外でも行っている(させられている)。
<p><b>【教師の手だて】</b></p> <p>“何事も食事に現れる”</p> <input type="checkbox"/> ① 担当が、給食当番や配膳等の役割分担を確認する。 <input type="checkbox"/> ② 児童と一緒に、児童の配膳を誉めながら配膳を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 全員の配膳、着席が確認できてから「いただきます」をさせる。 <input type="checkbox"/> ④ 意図的、計画的に班の中に入り食事をする。 <input type="checkbox"/> ⑤ 班での会食は、一人一人の児童理解に努めるとともに、児童の相互理解が図れるよう楽しく食事をする。 <input type="checkbox"/> ⑥ 偏食や食事量の偏り等について、改善されるよう自己努力を促すとともに、継続的に援助・指導していく。 <input type="checkbox"/> ⑦ 児童の給食時の変化に気づくため、日頃から、好き嫌いや食べ方等について観察し、だいたいの様子を把握しておく。 <input type="checkbox"/> ⑧ 片付けは児童に任せないで、当番が教室から出るまで教室で見届ける。 <input type="checkbox"/> ⑨ 食べ終わったら食器をまとめ、「ごちそうさまでした」と全員で言って、かたづけさせる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 時には、班員以外と自由にグループをつくり会食できる機会を設け、人間関係の把握に努める。	
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の配膳は早くてがんばったね。明日もよろしくね</li> <li>・ 好き嫌いは少なくした方がいいな。</li> <li>・ 今日は時間にゆとりを持って食べられたね。当番に感謝しよう。</li> <li>・ 両手を出して食べよう。</li> </ul>

場面	児童のサイン	
清掃時間	<input type="checkbox"/> ① 特定の児童と同じ清掃場所になろうとしない。 <input type="checkbox"/> ② いつもみんながいやがる仕事や場所が割り当てられる。 <input type="checkbox"/> ③ 特定の児童の雑巾や清掃用具がよくなかったり、ごみ箱に捨ててあったりする。 <input type="checkbox"/> ④ 特定の児童だけが清掃用具を持たないでいたり、古い用具を使わせられたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 一人だけ離れた場所で清掃している。 <input type="checkbox"/> ⑥ 教室の机や椅子を運搬するとき、いつも特定の児童のものだけ取り残されている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 特定の児童だけ清掃をさせられており、他の児童はそれを見てからかったりしている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 特定の児童が床を拭いたり、掃いたりしようとすると、その前がふさがれたり、股の下を通らされたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑨ 清掃後、必要以上に衣服がひどく汚れていたり、ぬれたりしている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 他の児童は清掃が終わっているのに、一人だけ続けていたり、後かたづけをしたりしている。	
<p><b>【教師の手だて】</b></p> <p>“清掃は人の心を磨くまで”</p> <input type="checkbox"/> ① 児童が行っている清掃当番箇所や用具の分担の様子を把握する。 <input type="checkbox"/> ② 仕事は全員で分担し、協力して仲良く行われるよう、その都度援助・指導を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 児童と一緒に清掃する機会を持つ。 <input type="checkbox"/> ④ 担当の清掃箇所を必ず1回は巡回するようにする。 <input type="checkbox"/> ⑤ 清掃をしないで遊んでいる児童を指導するとともに、一生懸命やっている児童に対して「よくやっているね」等の声掛けをする。 <input type="checkbox"/> ⑥ 清掃用具の後始末まで見届け、最後まで頑張った児童には、ねぎらいの声掛けをする。 <input type="checkbox"/> ⑦ 反省会では、全員が集合しあいさつをして終わりにする。その際に担当の教師がサインをするとともに、活動について振り返らせる機会とする。 <input type="checkbox"/> ⑧ 教師が出張等で不在の時は、まわりの教師が声を掛けながら進める <input type="checkbox"/> ⑨ 清掃用具の点検を委員とともにしておく		
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きれいになったね</li> <li>・ 早くできたね</li> <li>・ ここが残念だね。明日はもう少し丁寧にやっこう</li> <li>・ ごくろうさま</li> <li>・ 協力してできたね</li> <li>・ 机を引きずらないようにしよう</li> <li>・ 黒板がとってもきれいだね</li> </ul>	



場面	児童のサイン	
帰りの会から下校時	<input type="checkbox"/> ① 帰りの会での配布物が、特定の児童だけに渡らない。 <input type="checkbox"/> ② 帰りの会で、いつも特定の児童が追究されるなどしている。 <input type="checkbox"/> ③ 何か起こると、いつも特定の児童のせいにされる。 <input type="checkbox"/> ④ 下校の時間が近くになると、不安そうな表情が見え、落ち着かない。 <input type="checkbox"/> ⑤ 帰りの会が終わっても、用事がないのに教室に残っている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 帰りの会后、用事がないのに教師や職員室のまわりをうろうろしている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 朝や昼には見られなかった衣服の汚れやすり傷等が見られる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 特に理由はないのに、いつも一人で急いで下校する。 <input type="checkbox"/> ⑨ 教師の目の届きにくい場所に友達が(待ち伏せて)いて、一緒に帰る。 <input type="checkbox"/> ⑩ いつも友達の荷物を持たされている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 帰るときになって、特定の児童の靴や持ち物等がなくなっており、探してもなかなか見つからない。	
<p><b>【教師の手だて】</b></p> <p style="text-align: center;">“さようなら またあした”</p> <input type="checkbox"/> ① 帰りの会の運営については適時、援助・指導する。 <input type="checkbox"/> ② 帰りの会を連絡だけで終わりにせず、相互の心の交流を図る場として充実させる。 <input type="checkbox"/> ③ よかったこと、嬉しかったことなどを認め合い、賞賛し合う時間を確保する。 <input type="checkbox"/> ④ 教師から見た、よかったことや反省すべきことなどを話し、明日への意欲付けを行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ お互いが気持ちよく『さようなら』ができるように工夫する。 <input type="checkbox"/> ⑥ 『さようなら』の時、児童の表情を観察し、普段と変わらないかどうかを確認する。 <input type="checkbox"/> ⑦ 友達と一緒に複数で帰るように促す。 <input type="checkbox"/> ⑧ 問題を抱えた児童に対しての個別相談を行う。 <input type="checkbox"/> ⑨ 全員の児童が教室を出るのを確認しながら、児童の机の落書きなどを気にしながら環境の整備を行う。 <input type="checkbox"/> ⑩ 朝の様子と変わっていないか、学級全体と個人を見つめる。		
教師の言葉掛け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会者の手順がいいね。</li> <li>・ ○○係の人○○をお願いします</li> <li>・ 聞く姿勢が立派になったね</li> <li>・ (発表者の)声の大きさは素晴らしいね</li> <li>・ 今日も頑張ったね</li> <li>・ 笑顔で終われて、今日もよい一日だったね</li> <li>・ 挨拶がとても気持ちいいね</li> <li>・ 明日はもっとがんばろう</li> <li>・ さようなら</li> </ul>	

場面	児童のサイン
その他・全体	<input type="checkbox"/> ① 衣服の汚れや破れ、ボタンが取れているなど服装に異常が見られる。 <input type="checkbox"/> ② 理由のはっきりしない傷やあざ、鼻血、怪我等が見られる。また、それを隠そうとしている。 <input type="checkbox"/> ③ 文具類や履き物等の持ち物が隠されたり、壊されたりする。 <input type="checkbox"/> ④ 不自然な言動が見られ、表情が暗く、周囲を気にしている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 普段明るい児童が、急に元気がなくなり、ふさぎ込んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 頭痛や腹痛、吐き気などをよく訴えるようになる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 一人で行動することが多くなり、集団行動を敬遠するようになる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 活気がなくなり、おどおどすることが多くなる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 連絡帳や日記帳などの記述に不安や悩みを示すようになる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 他の児童の言いなりになっている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 嫌なあだ名で呼ばれたり、「クラスの恥」などといわれ、除け者にされている。 <input type="checkbox"/> ⑫ 特定の児童の机や椅子、持ち物などに触れようとしなくなる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 席替えの時、いつも特定の児童の近くに座るのを嫌がる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 班長や係、学級代表等の選出がまじめに行われず、押しつけで選ばれる。 <input type="checkbox"/> ⑮ グループ作りなどを行う際、なかなか特定の児童の所属が決まらない。 <input type="checkbox"/> ⑯ 文字や作品等が乱雑になってくる。 <input type="checkbox"/> ⑰ 掲示作品や黒板、壁等に中傷の言葉や悪質な落書きが見られる。

### 【教師の手だて】

“やって見せて 言って聞かせて

やらせて見て 誉めてやらねば人は動かず”

- ① 「愛の鞭」などと称して体罰は絶対に行わない。
- ② 「だめなものはだめ」という毅然とした態度を示しながらも、何でも頭ごなしに叱らない。かげで、短く、比較しないで叱る。
- ③ 感情に任せて、児童の心を傷つける言葉を発しない。
- ④ 特定の児童ばかりを叱ったり誉めたりしない。
- ⑤ 「〇〇さん」といった温かい呼称で呼ぶ。または、快い愛称で呼ぶ。
- ⑥ 児童の言動や表情に気づくよう、普段から一人一人をよく見る。
- ⑦ 児童会活動や学級活動、クラブ・委員会活動等を自治的な活動とって、すべてを任せない。
- ⑧ 児童の信頼関係づくりに力を入れる。
- ⑨ 児童と触れ合う時間を意図的に増やすように努める。
- ⑩ 学級日誌、レポート、作品等に温かいコメントを入れる。
- ⑪ 一面的な物差しで児童を評価せず、多面的にとらえ、それぞれのよさを認め、伸ばすようにする。

教師の  
言葉掛け

- ・ この掲示物素晴らしいね
- ・ 心が成長したね
- ・ 家庭への電話連絡の際は、よい活動を例に出してから本題に触れる
- ・ 話したいことがあったらいつでも声をかけて下さいね
- ・ ありがとう
- ・ 元気ないね、無理しないようにね。

